

# あじろぎ

一般社団法人 宇治青年会議所 2018年度スローガン

## 一路邁進

～変革する勇気と守り抜く覚悟～



一般社団法人 宇治青年会議所

## 目 次

・ 2018年度 理事長挨拶	3
・ 2018年度 組織図	4
・ 2018年度 出向者リスト・対外事業出向先	5
・ 2018年度 活動報告	6
・ 1年間を振り返って（2018年度委員長）	20
・ 宇治青年会議所を振り返って（2018年度 卒業生）	21
・ 新入会員挨拶	25
・ 2019年度 理事長所信	26

### ●青年会議所とは

1949年、明るい豊かな社会の実現を理想とし、責任感と情熱をもった青年有志による東京青年商工会議所（商工会議所法制定にともない青年会議所と改名）設立から、日本の青年会議所（JC）運動は始まりました。

共に向上し合い、社会に貢献しようという理念のもとに各地に次々と青年会議所が誕生。1951年には全国的運営の総合調整機関として日本青年会議所（日本JC）が設けられました。

現在、全国に青年会議所があり、三つの信条のもと、よりよい社会づくりをめざし、ボランティアや行政改革等の社会的課題に積極的に取り組んでいます。

さらには、国際青年会議所（JCI）のメンバーとして各国の青年会議所と連携し、世界を舞台として、さまざまな活動を展開しています。

### ●青年会議所の特性

青年会議所には、品格ある青年であれば、個人の意志によって入会できますが、20歳から40歳までという年齢制限を設けています。これは青年会議所が、青年の真摯な情熱を結集し社会貢献することを目的に組織された青年のための団体だからです。会員は40歳を超えると現役を退かなくてはなりません。この年齢制限は青年会議所最大の特性であり、常に組織を若々しく保ち、果敢な行動力の源泉となっています。

各青年会議所の理事長をはじめ、すべての任期は1年に限られます。会員は1年ごとにさまざまな役職を経験することで、豊富な実践経験を積むことができ、自己修練の成果を個々の活動にフィードバックさせていきます。

青年会議所におけるさまざまな実践トレーニングを経験した活動分野は幅広く、OBも含め各界で社会に貢献しています。たとえば国会議員をはじめ、知事、市長、地方議員などの人材を輩出、日本のリーダーとして活躍中です。

### ●JCI（国際青年会議所について）

自由な社会と経済発展を実現し、新しい社会をリードするにふさわしい人材育成を目的として、1915年にアメリカ・ミズーリ州セントルイスに生まれた小さな青年活動グループから始まったJC運動は、その活動が認められ、アメリカの社会的活動を担う主要な青年団体へと発展していきました。

1944年には「積極的な変革を創り出すのに必要な指導者としての力量、社会的責任、友情を培う機会を若い人々に提供することにより、地球社会の進歩発展に資すること」を使命に、アメリカ、コスタリカ、エルサルバドル、グアテマラ、ホンジュラス、メキシコ、ニカラグア、パナマの8カ国によって国際青年会議所（JCI）が発足。その後、年々加盟国は増え、日本も1951年に加盟、JCIの一員として新たな活動の一步を踏み出しました。

会員数17万人以上の世界で最も大きな青年団体です。現役メンバーに加え約250万人以上のOBがいます。

毎年11月には世界会議が開催され、世界中のメンバーが一堂に会する重要な国際交流の場となっています。

## 2018年度 理事長挨拶



2018年度 一般社団法人 宇治青年会議所  
第49代 理事長 内良 親正

2018年度、(一社)宇治青年会議所の活動、運動に対しまして、多大なるご理解とご協力を賜りました地域の皆様、行政・関係諸団体関係者の皆様、そして宇治青年会議所OBの先輩諸兄姉に心より感謝御礼を申し上げます。

本年度の宇治青年会議所は、「一路邁進 ～変革する勇気と守り抜く覚悟～」というスローガンを掲げ、今まで以上のスピードで変化をしていく事が予想される社会情勢の中で、地域を牽引していくリーダーとして、強力なインパクトを与える事ができる団体へと成長していく為にも、メンバー一人ひとりがベクトルを合わせて、自分達に足りないものを素直に認めて強みに変える挑戦をしていく。そして、「明るい豊かな社会」の実現に向けた理念を覚悟を持って受け継ぎながら時代に合わせて我々の地域に必要なモノを研究し、自分達自身を変化させる事も大切であると考えて活動を展開して参りました。また、昨年の13年ぶりとなる「第45回京都ブロック大会 宇治大会」の主管LOMという大役を担った私たちは、様々な困難を乗り越え大会を見事成功に導くことができたという自信と誇りを胸に、さらなる高みへと成長していく1年として2018年度のスタートを切りました。

本年度は総務委員会と地域力向上委員会という2つの委員会に加え、2019年度には宇治青年会議所が創立50周年の節目の年を迎えるにあたり、50周年準備室を設置致しました。そこでは45周年に定めた5年間のビジョンを振り返り、変わらず継続していかなければならないもの、時代と共に変化をさせていくべきものを検証し、一定の方向性を持たせた中長期的なビジョンの構築を進めて参りました。

総務委員会は、理事会開催等のLOM運営において効率的な運営を行い、その決定事項をメンバーに迅速に情報発信する事で個々の能力を最大限に引き出し、同じ方向を持たせた組織運営に取り組んで頂きました。また、1月新春例会や12月の卒業式例会を含めた全ての例会セレモニーを担当して頂き、メンバー同士の情報共有は勿論、各地青年会議所の皆様や特別会員の皆様との交流の中で、宇治青年会議所の想いを発信することができました。

地域力向上委員会には、メンバーの新たな能力に目覚めるひとつづくり事業として、前宇治市長の久保田勇様をお招きして「リーダー力」を題材にセミナーを開催して頂きました。メンバーの多くが会社の経営に携わっている方、それに準じた立場の方々が多い中で、私たち自身がしっかりとした理念を持ち、目まぐるしく変化する環境に対応できる柔軟性と専門性を備えるとともに、「自分達の地域や会社をこんな風にしたい」というレベルに留まらず、「こんな地域や会社にしなければならぬ」という力強い執念が大切である事を学びました。

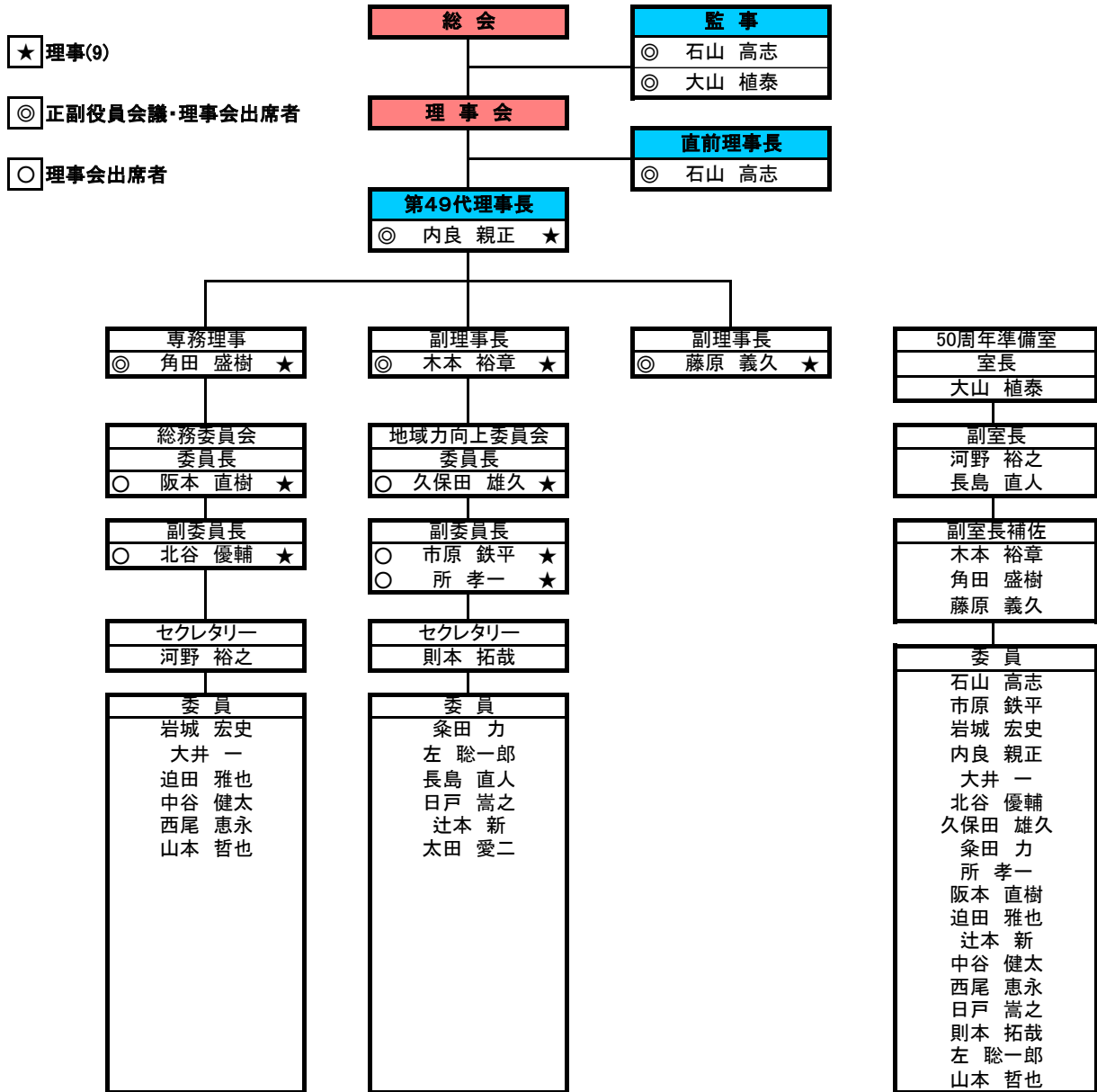
また、地域力を高めるまちづくり事業としては、9月17日に宇治徳洲会病院にて「One Link フェスタ 2018」を開催させて頂きました。協賛して頂きました山崎製パン株式会社京都工場様、後援して頂きました宇治徳洲会病院様や各出展ブースにご協力して頂きました皆様には心から感謝と御礼を申し上げます。我々の地域は、世界的な観光都市でもあり、また近年のインフラ整備によって経済発展もして参りました。しかしながら、地域力にはそういった経済的要素だけではなく、社会的要素や自然や環境といった多くの要素が存在しており、その中でも地域力の向上において「ひと」という要素は欠かすことができないと思います。そういった意味でも、この事業を通して色々な出会いから繋がりを持って頂いて、更には自分達の住む地域に対して、より関心を高めて頂いたと考えております。そして、宇治青年会議所としても過去の延長線上にあることをしているだけでは団体として、またメンバー個人としても成長は望めませんし、そこで活動するメンバー自身が、どれだけ事業にのめり込むかが大切であると感じました。私自身、今回の事業を終えて、準備段階から、また事業当日も大小問わず色々なトラブルもありましたが、私たち自身が問題を解決することすら楽しめるからこそイノベーションというモノは生み出されることにメンバーの皆様気付かせて頂いたと思います。

会員拡大においては、5名の入会と1名の入会予定者を含め6名の新しい仲間を迎え入れることになりました。しかしながら45周年ビジョンに掲げた年間の目標会員拡大数である10名に達成することはできませんでした。全ては私自身の力不足によるものと考えております。来年度は各々のステージは変わりますが、私たちの活動・運動に終わりはありません。引き続き、宇治青年会議所として日々の活動・運動に自身と誇りを持ち、その情熱を行動に変えて多くの同志を募って参ります。

結びに、宇治青年会議所の理事長として多くの経験をさせて頂きました。そして青年会議所の活動を通して多くの出会いがあり、その一つひとつの瞬間をいかに大切にすべきか、ということをお教えられた1年でもありました。また本年度の活動において、多くの困難に立ち向かって頂いた専務理事、副理事長はじめ委員長、そして各メンバーの皆様心から感謝申し上げます。1年間本当にありがとうございました。

# 2018年度 一般社団法人宇治青年会議所 組織図

## 2018年度 一般社団法人宇治青年会議所 組織図



# 2018年度 一般社団法人 宇治青年会議所 出向者一覧

## ●公益社団法人 日本青年会議所 近畿地区協議会

地域社会貢献構築委員会

委員 大山 植泰

## ●公益社団法人 日本青年会議所 近畿地区 京都ブロック協議会

監査担当役員 石山 高志

副会長 藤原 義久

国際交流推進委員会

副委員長 河野 裕之

委員 中谷 健太

委員 則本 拓哉

総務財政委員会

委員 木本 裕章

ブロック大会運営委員会

委員 市原 鉄平

委員 辻本 新

J C 運動推進委員会

委員 北谷 優輔

委員 所 孝一

委員 長島 直人

本気の J A Y C E E 育成委員会

委員 久保田雄久

委員 阪本 直樹

## 会員の主な対外事業出向先

●宇治市廃棄物減量等推進審議会

●宇治市青少年健全育成協議会

●宇治市平和都市推進協議会

●宇治市献血推進協議会

●宇治川マラソン大会（顧問・参与・実行委員）

●宇治市・久御山町暴力追放対策協議会

●宇治市行政改革進行管理委員会

●宇治市男女共同参画審議会

●紫式部文学賞イベント実行委員会

●宇治川花火大会実行委員会

●クリーン宇治運動推進協議会

●宇治市都市計画審議会

●宇治市環境保全審議会

●宇治市共同募金

●「宇治茶と源氏物語」スイーツイベント実行委員会

●宇治市交通安全対策協議会

●宇治市行政改革審議会

●宇治市国際親善協会運営部会

●天ヶ瀬ダム水源地域ビジョン推進連絡協議会

●やましろ未来っ子小学校 E K I D E N 実行委員会

※2017年12月現在

## 活動報告（他団体主催事業への協力）

日付	内容
2月26日	一般社団法人 宇治市体育協会主催 第34回宇治川マラソン大会
3月11日、12日	宇治サッカー協会主催 第18回宇治チャレンジカップ少年サッカー大会
3月11日	文化少年団 卒団式
4月16日	「宇治茶と源氏物語」スイーツイベント実行委員会主催 宇治太陽ヶ丘スイートリレーマラソン
10月20日	宇治田楽まつり
12月1日	やましろ未来っ子小学校 E K I D E N
その他	クリーン宇治活動 宇治文化少年団の各種事業

# 活動報告

## 2018年度主要事業一覧

### ● 宇治青年会議所 主要事業

1月 7日	新春茶会（第43回初釜）・1月例会（新春交流会）
2月14日	2月例会
2月23日	通常総会
3月14日	3月例会
4月11日	4月例会
4月25日	ひとづくり事業
5月 9日	5月例会
6月13日	6月例会
7月12日	7月例会
8月 8日	8月例会
9月12日	9月例会
9月17日	まちづくり事業
10月10日	10月例会
11月14日	11月例会・FTセミナー
12月 8日	12月例会（卒業式例会）
12月22日	臨時総会

### ● 公益社団法人 日本青年会議所 主催事業への参加

1月18日～21日	京都会議
2月16日～18日	金沢会議
5月24日～27日	ASPA鹿児島大会
7月21日～22日	サマーコンファレンス2018（横浜）
10月 4日～ 7日	全国大会 宮崎大会

### ● 公益社団法人 日本青年会議所 近畿地区協議会 主催事業への参加

7月14日	近畿地区大会 葛城大会
-------	-------------

### ● 公益社団法人 日本青年会議所 近畿地区 京都ブロック協議会 主催事業への参加

2月20日	会長訪問
3月16日	模擬討論会
5月20日	ブロック大会 京都大会
6月 8日～10日	国際交流推進事業（香港）
6月30日	J Cカップ
9月 1日	アカデミー事業
10月26日	本今年度合同会議

### ● その他、青年会議所活動への参加

3月 4日	第一回 クリーン宇治
4月15日	文化少年団 入団式
4月22日	宇治太陽ヶ丘スイートリレーマラソン
7月 1日	第二回 クリーン宇治
9月 3日	第三回 クリーン宇治
10月20日	宇治田楽まつり
10月 7日	宇治茶レンジャースタンプラリー
12月 1日	やましろ未来っ子EKIDEN

## 2018年度主要事業概要



# 新春茶会 (第43回初釜)

日時：2018年1月7日（日）

場所：宇治市観光センター（受付）・宇治市営茶室 対鳳庵（茶席）・辰巳屋（七草粥）

来場者数：42名

2018年度も新春茶会から新年開始。本年度も昨年に続き対鳳庵において茶道を通じて招待した方々にご挨拶を申し上げ、メンバーのお店である辰巳屋で七草粥の提供を行い、ご好評をいただきました。



## 1月例会（新春例会）



日時：2018年1月7日（日）

場所：花やしき 浮舟園

姉妹青年会議所である香港ブヒニア青年商会様をお招きし、2018年度内良理事長のもと「一路邁進～変革する勇気と守り抜く覚悟～」をスローガンに、新たに出発する宇治青年会議所の基本方針を発信し、府内各地青年会議所のメンバーに意気込みを感じてもらいました。また、辻本君、日戸君、西尾君が新たに宇治青年会議所へ入会されました。

## 2月例会



日時：2018年2月14日（水）

場所：宇治市中央公民館

中央公民館での通常例会。各委員会の取り組み状況や出向先の委員会の報告があり、グループワークでは50周年準備室から50周年ビジョン策定を行い、高辻先輩に講演頂き、また第2部では、「U2K魅力発信プロジェクト」の検証を行いました。



## 3月例会



日時：2018年3月14日（水）

場所：宇治市中央公民館

各委員会の取り組み状況や出向先の委員会の報告があり、特に最重要課題である会員拡大についてメンバー全員で意識の共有を図りました。また、例会に先駆けて、京都ブロック協議会より会員拡大推進事業、アカデミー事業、そして国際ミッション事業のPRが行われました。当日はブロック大会運営委員会も開催され、例会後は宇治青年会議所とブロック大会運営委員会とで懇親を深める交流会が行われました。

## ブロック会長訪問



日時：2018年2月20日（火）

場所：宇治市南宇治コミュニティセンター・グルメリア但馬

近畿地区京都ブロック協議会 両國義人会長にお越しいただき、今年一年の京都ブロック協議会の方向性を示すべく、人間力、青年会議所と家庭、仕事のバランスなど様々な熱い熱いお話しをしていただきました。第二部ではグルメリア但馬さんにて懇親会を行い、メンバーの親睦を深めました。

## 4月例会



日時：2018年4月11日（水）

場所：宇治市中央公民館

京都ブロック協議会から国際交流推進委員会、ブロック大会運営委員会、総務財政委員会がPRに来られました。定例の各委員会及び出向者報告に加えて、第2部ではグループワークとして議案作成の勉強会を行いました。事業がどのように作られ、運営されているのかFTメンバーにも学びの多い勉強会となりました。

## ひとづくりセミナー



日時：2018年4月25日（水）

場所：宇治市中央公民館

地域力向上委員会によるひとづくりセミナーを開催いたしました。講師として久保田勇前宇治市長をお招きし、リーダーとはどういったものか、その心構えなど御高話いただきました。この学びを我々も活かし、地域を牽引するリーダーとなって日々のJC活動に邁進してまいります。

## 5月例会



日時：2018年5月9日（水）

場所：宇治市中央公民館

新たに、太田愛二君が入会し、新しい仲間として迎えることができました。また、PRとして京都ブロック協議会国際交流推進委員会が来られました。例会第2部でのグループワークでは、前回に続き議案作成の勉強会が行われ、まだ経験の浅いメンバーも、どのように事業が作成されていくのか知る良い機会となりました。

## 第46回京都ブロック大会 京都大会



日時：2018年5月19日（土）

場所：ロームシアター京都サウスホール

ロームシアターでの式典から始まり、報奨授与やフォーラムなど、更にはKYONOENNICHIが岡崎公園プロムナードで開催され、府内42店舗の飲食ブースや、体験ブース、ステージでのパフォーマンスが行われました。

# 2018 JCI ASPAC 鹿児島大会



日時：2018年5月24日（木）～27日（日）

場所：鹿児島アリーナ

鹿児島にて、ASPAC鹿児島大会が開催されました。約8,200名(国内6,200名、海外2,000名)の参加者が鹿児島に集う国際大会が開催されました。

24日開会式から始まり、25日には、各国のグルメ、文化や音楽のブース出展があり、多くの国々の方々と国際交流を楽しんできました。26日には、鹿児島アリーナにて、JAPAN NIGHTが開催され京都ブロック協議会からもブース出展されました。

## 国際ミッション



日時：2018年6月8日（金）～10日（日）

場所：香港

6月8日から10日まで、国際ミッション in 香港に参加しました。

香港日本文化協会の HAU Ching Yee 副校長の基調講演や現地メンバーとの交流、視察などを行い、見聞を広めることができました。

## 6月例会

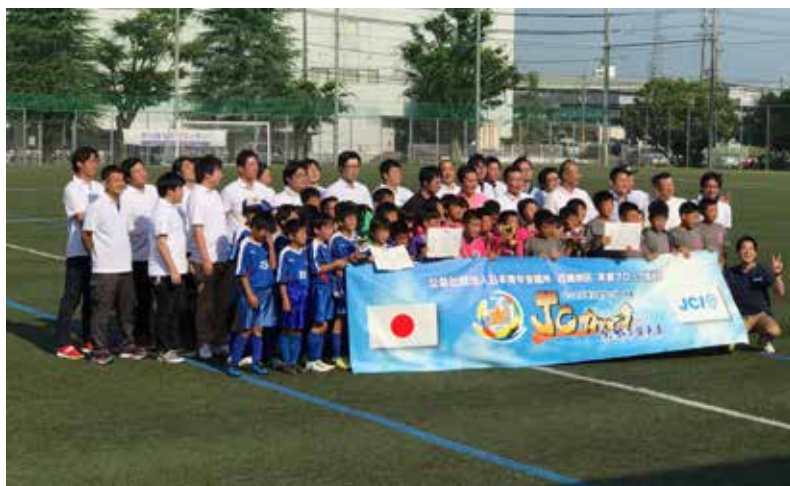


日時：2018年6月13日（水）

場所：宇治市中央公民館

例会のグループワークでは、50周年事業に向けてメンバーの活性と組織の拡大に更に熱意を持って当たるようディスカッションを行いました。例会後には宇治平等院前の ICHIGO さんにて、本年度新入会員の歓迎会を兼ねた懇親会を行いました。

## J Cカップ

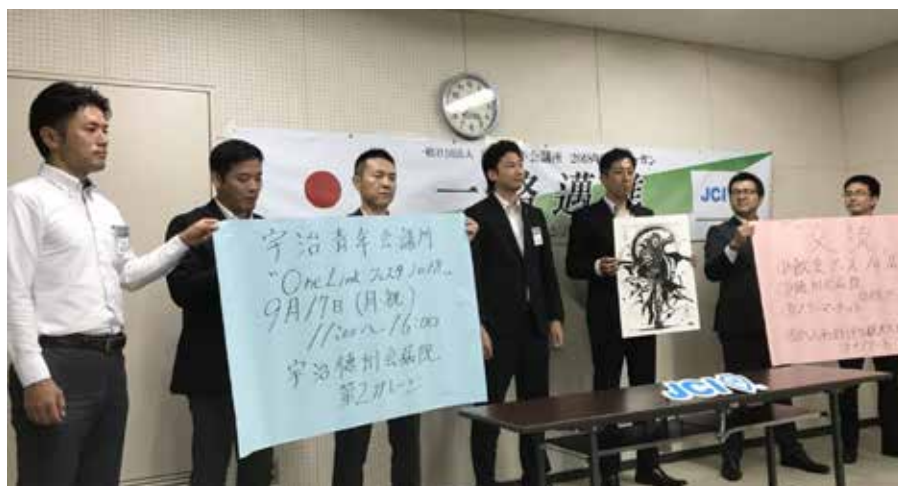


日時：2018年6月30日（土）

場所：下鳥羽球技場

J Cカップ京都府予選が下鳥羽球技場で開催されました。当LOM代表の巨椋ボンバーズが準優勝を収めて近畿地区予選に出場することになりました。

## 7月例会



日時：2018年7月11日（水）

場所：宇治文化センター 練習室2

今例会より、以前まで使用していた宇治公民館実習室が使えなくなり、いつもとは変わった雰囲気での例会となりました。グループワークでは、10月に迫ったまちづくり事業における、集客及び広報の手法など話し合いが行われました。

## 近畿地区大会 葛城大会



日時：2018年7月14日（土）

場所：香芝市中央公民館・モナミホール・當麻寺

2018年度地区大会葛城大会が香芝市中央公民館において第2回会員会議所会議が開催されました。合わせて「結いの宴 in 當麻寺」が開催され、近畿地区94 LOMメンバーが集結し、大盛況の大懇親会となりました。

## 8月例会



日時：2018年8月8日（水）

場所：宇治市中央公民館

京都ブロック協議会から・本気のJAYCEE育成委員会・事務局 上記2委員会がPRに来られました。定例の各委員会及び出向者報告に加え、例会後には場所を移して、まちづくり事業・卒業例会成功に向けて決起集会を行いました。

## 8月グループワーク



日時：2018年8月17日（金）

場所：鴻巣運動公園、ニューアンナプルナ

8月17日（金）にスポーツ交流会として野球大会を開催いたしました。5名のオブザーバーの他、宇治青年会議所のOBでおられる3名の先輩達にも参加していただき、メンバー間の絆を深める事ができました。

その後、懇親会を宇治市大久保駅近くのニューアンナプルナさんにて開催しました。この店のオーナーであるゴビンダさんによる演奏が始まり、大変盛り上がる事ができました。

## 京都ブロック協議会アカデミー事業



日時：2018年9月1日（土）

場所：ガレリアかめおか

講師に、2017年度に日本青年会議所の専務理事を務められた寺尾忍先輩をお招きし講演いただき、なぜ青年会議所活動をするのか、役職を受けることの意味、どのような行動をするべきかを学びました。その後のグループワークでは、講演を基に一人ひとりの目標設定をして、それを実現するための行動指針を策定。仕事とJCにどう臨むかが、明確になった1日となりました。



## クリーン宇治事業



日時：2018年3月4日（日）、7月1日（日）、9月3日（日）

場所：槇島の京滋バイパス高架下周辺

年間に3度行われるクリーン宇治事業。内良理事長が代表を務める活動は、市内各地で実施され、積極的な清掃活動であると共に、宇治青年会議所の重要な広報活動の一環になります。

## 9月例会



日時：2018年9月13日（水）

場所：宇治市産業会館

宇治市産業会館へ場所を移し行われた定例のセレモニーに合わせ、9月17日におこなわれるまちづくり事業～One Link フェスタ 2018～に向け、事業目的や前日準備・当日の流れなど把握する説明会を行いました。

## ～One Link フェスタ 2018～



日時：2018年9月17日（月・敬老の日）

場所：宇治徳洲会病院第二駐車場

宇治青年会議所のまちづくり事業として～One Link フェスタ 2018～を開催いたしました。こうじょう雅之氏によるライブアート、フリーマーケット、飲食ブース等の出展をはじめ、協賛の山崎パン株式会社京都工場様、後援に宇治徳洲会様、京都文教大学様、地域に根付く多くの関係者様のご協力もあり、目標人数を大きく上回る参加者を迎えることができました。



## 10月例会



日時：2018年10月11日（水）

場所：宇治市産業会館

節目となる宇治青年会議所50周年事業に向け、過去の事業や先輩の活動を再確認し、事業のビジョンの重要性を認識し、さらなる組織の活性化に向けディスカッションを行いました。

## 11月例会



日時：2018年11月14日（水）

場所：宇治市産業会館

定例のセレモニー後、第二部では入会3年未満のメンバーを対象に、石山直前理事と角田専務が講師として、FTセミナーを開催しました。青年会議所の基本的なルールや組織について学びました。

## 12月例会



日時：2018年12月8日

場所：新・都ホテル1階ラフィネ

卒業式例会を開催し、石山高志君、市原鉄平君、内良親正君、所孝一君、左聡一郎君が卒業されました。特別会員の皆様も駆けつけてくださり、感動と祝福の中、送り出すことができました。

## 2018年度 委員長 1年間を振り返って



総務委員会 委員長

阪本 直樹

昨年は年度の途中から初理事、会員拡大委員会の委員長を務めることになりましたが、今年は新年から総務委員会の委員長を経験することができました。総務を担当するのは初めてで、準備不足などで御迷惑をお掛けすることがありましたが、委員会メンバーのご協力の元、回を重ねるごとに改善してまいりました。

厳粛の場である月に一度の例会では、正副理事の方々がご降壇される際にスムーズに進められるように、正副席などの座席を事前に設けました。また、理事長・直前理事長の挨拶の際には、メンバーの入室・退室を禁じ、集中して話が聴くことが出来るようになり、理事長・直前理事長の想いを受けとめることができたのではないかと感じております。

第2部では、メンバー全員がコミュニケーションをとれるように、地域力向上委員会・50周年準備室と共にグループワークを実施し、各委員会の目的に沿ったコミュニケーションツールの場を設けることによって、入会の浅いメンバーでも対等に話しやすい環境が作れたのではないかと感じております。

今後のJC活動として、今まで2年間務めさせて頂いた委員長経験での失敗や成功したことを活かし、次年度以降に委員長をされる方へ伝達し、より良い組織となるように邁進していく所存です。



地域力向上委員会 委員長

久保田 雄久

本年度、地域力向上委員会の委員長をさせて頂きました。事業として、初釜や人づくり事業、まちづくり事業を担当させて頂き、各事業において反省や改善の繰り返しで、自分の足りない部分が良く分かった一年間でした。初委員長という事もあり、至らない所がある中でご指導頂いた正副役員の皆様、いつでも協力してくれた委員会メンバー、事業に参加頂いたメンバーの皆様に支えて頂きながら、何とか委員長として本年度を全うできたと思います。悩んだ事や苦しかった事もありましたが、それを乗り越えないと挑戦した事にならない、自己成長に繋がらない事を、身を持って学び良い経験を積ませて頂きました。まだまだ成長する必要がある自分ですが、学んだ事を周りに伝え仕事にも活かしながら今後も研鑽を積みながらJC運動、JC活動と向き合い取り組んでいきます。一年間支えて頂いた内良理事長はじめメンバーの皆様、本当に有難うございました。今後とも宜しくお願いします。

## 2018年度卒業生 宇治青年会議所活動を振り返って



石山 高志

私の JC 活動が始まるきっかけとなった飲み会。古くからの友人である江口君に誘われ何も考えずに参加し入会しました。最初の頃は月 1 回の例会に出たら良いと言われていたので例会しか参加していませんでした。「例会セレモニーは面白くない我慢の時間」その後の懇親会は楽しい時間と自分勝手に捉えていたのを記憶しています。そんな私が、JC に興味をもつ出来事が出向でした。出向先で色々なメンバーと知り合い、仲良くなっていく中で事業の事をみんなが真剣に取り組んでいる姿を見て、いい加減に活動していたら、みんなに失礼と本気で思い自分自身の意識も変わっていったように思います。

自分自身が変化したと思った時は、京都ブロック副委員長の時でした。副委員長やって欲しいと依頼があった時は正直できるか凄く不安でしたが、よし！一回やってみよう！始まってみると周りのメンバーが支えてくれ、やりきる事が出来ました。また、翌年には京都ブロック委員長をしましたが、正直しんどかったです。毎月の役員会、会員会議所、委員会、仕事と目まぐるしい日々を過ごし、議案書に追われ毎日何をしているのか理解できない時期もありました。ちょうどその頃に従業員が会社を辞めてしまい、これ以上 JC を続けるのは無理！と思い、色々な方に相談した事を覚えています。JC の活動で周りが見えていなかった自分に反省しながら、何とか続けたい！強い意志を持って活動し 1 年間委員長を全うする事が出来ました。この 1 年間に出会えた出向メンバーは私にとって宝物です。

そして、2017 年第 48 代理事長を拝命しました。これまでとは違い自分より上の立場の人間がいない事に、大変大きな責任を感じました。理事長という重職をやりきる事が出来たのは、1 年間支えてくれた当時の理事、メンバー、特別会員の皆様には感謝の言葉しかありません。本当にありがとうございました。

最後に、卒業するのは少し寂しいですが、今は達成感の方が強いです。私の JC 活動に関わって頂いた全ての皆様に感謝申し上げます。8 年 10 か月の長い間、本当にありがとうございました。



## 市原 鉄平

2016年9月に入会させていただき、あっという間の2年4ヶ月でした。

私は、久御山町で生まれ育ち、20代前半に就職で上京し、30歳後半になって帰京しました。

その間、独身、結婚、子育てを経験し、私の価値観も大きく変化したと感じています。

特に、子供が生まれてからは、これまでのように街に出かけることも少なくなり、近所の公園に出かけることが多くなりました。

そのような中、東京でも地域のイベント等で青年会議所を見かけることができました。

子育て世代にとって、地域イベントを通じての地域活性化はとても意義のあることだと感じるようになり、青年会議所のような地域団体の一員として活動したいという気持ちが芽生えたように思います。

30歳になる頃に人生を見つめなおす機会があり、30歳半ばにて転職とともに帰京する決意をしました。帰京した一つの思いとして、地域活性化がありました。

東京でいつも感じていたことは、東京に何もかもが集中しているということです。

日本の活性化には東京だけではなく関西の活性化が必要であり、関西の活性化には京都の活性化が必要であり、そして、京都の活性化には京都南部の歴史ある宇治地域のさらなる活性化が必要であると考えようになりました。

帰京してからすぐに、父が歴代ということもあり、宇治青年会議所へ入会する運びとなりました。当時、藤原委員長が入会届を持参いただき、礼儀正しい熱い団体だなと思うと同時に、L O M ? ノミニー ? など不思議な団体だなとも思っていました。

当時から、例会で歌う君が代は、日本代表さながら、地域代表のような気分になりながら、歌っています。

入会后、F Tメンバーにもかかわらず、2017年度はブロック大会運営委員会にて会計幹事を仰せつかりました。よくわからないまま、できる限りで参加していましたが、本当に迷惑ばかりかけたと反省しています。2018年度もブロック大会運営委員会に出向させていただきました。2年目は流れを理解しているだけあって、楽しみながら取り組むことができ、ロームシアター京都での司会は記憶に残る思い出となりました。

2018年度を経験して思ったことは、2017年度の大山委員長への感謝の念でした。不甲斐ない会計幹事だった私をいつも支えてくれたことにあらためて感謝申し上げます。

また、L O Mでは、2018年度は地域力向上委員会で副委員長を仰せつかりました。これもまた、久保田委員長に迷惑をかけっぱなしで本当に申し訳ない気持ちです。

短い間でしたが、青年会議所を通じて学んだことは、人と人とのつながりの素晴らしさです。

振り返ってみると、感謝と反省との繰り返しで、本当に多くのメンバーに熱く支えられ、そしてたくさんのごことを学ばせていただいたという感謝の念しかありません。

帰京後間もない慌ただしい中での青年会議所活動としては、不完全燃焼ではありますが、熱い想いを胸に、40代を完全燃焼できるように走り切りたいと思います。

今後とも、伝統を築いてこられた先輩諸兄や地域の方々への感謝の念を持ちながら、「地域に支えられ、地域を支える一役を担う」ことができるよう、精進していきたいと思っております。

短い間でしたが、本当に本当にお世話になり、ありがとうございました。

そして、今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。



## 内良 親正

2013年、当時の会員拡大委員会の担当副理事長をされていた方が弊社までお越しいただき、広報誌の「あじろぎ」を片手にJCに関して一生懸命ご説明してくださいました。私は青年会議所の掲げる「明るい豊かな社会」の実現という理念すら理解できず、当時の説明も上の空で聞いていた為、何となく流れのまま入会してJC活動が始まりました(笑) そんな目標も持たずに入会した私ですから、最初は手探りの活動で心が折れそうなことも何回もありました。しかしながら、各役職をさせて頂いている中で職務をやり遂げた時の達成感が次第に喜びに変わり、「次はこうしてやろう」、「こうすれば上手くいくかも」と考え活動する様になり、気付けば49年目の宇治青年会議所を引っ張っていく役を仰せつかっていました。最初はJCに自分が関わっていることを正しく理解したうえで活動に参加できていたわけではありませんが、誰かがしてくれるのではなく自分達の積み重ねる毎日が大切であることを学びました。どんなに素晴らしい人でも「これをしてきた」と言える人間は少ないのではないのでしょうか。やればやる程、自分の抜けた部分に気付く。だからこそ、私たちは自分の目の前にあることを一生懸命に取り組む必要があります。そして、将来その経験に背中を押される時が必ずあり、また違う世界を見ることができるとも思います。

振り返ると入会から卒業を迎えるまで、目まぐるしいスピードで流れていきました。入会以来、未熟な私をご指導いただきました先輩諸兄の皆様、そして同じ時代を生きる仲間として共に活動してきたメンバーの皆様から心から感謝いたしております。本当に有難うございました。



## 所 孝一

どこかの団体に入りたいな、同年代の方と活動したいなと思い始め、色々な会に参加しましたが、なかなか出会うことが出来なかった時に宅建の会合で高木真吾先輩に相談をさせて頂いた時に、「俺、今年で卒業やから代わりに入会してや。とりあえず例会を見に来たら」と言って頂き、細かい説明もなく、何をやる団体なのかも解らず2016年10月に入会させて頂きました。

2017年度には京都ブロック協議会ブロック大会運営委員会に出向させて頂き、宇治が主管LOMとなって開催された京都ブロック大会でのフォーラムで司会をさせて頂きました。

最終年度では地域力向上委員会の副委員長をさせて頂き、まちづくり事業を担当することになりました。委員会メンバーから意見をもらい委員長と議案作成・資料作成をしたことを思い出します。なんでお金にもならない事をしているのかと何度も何度も思いながら作成していました。ですが、当日にそれが報われました。予想をはるかに超える来場者数。キラキラ輝いているメンバーを見て、「これなんや!」。このためなんだと。最終年度になって初めて味わえた感覚です。後悔や反省の思いはあります。しかし、活動を通じて学んだことや、懸命に取り組んだことは一生忘れる事はありませんし、今後の自分の人生に活かしていきたいと思います。

JCに入っていないければ生涯出来ないであろう経験や、沢山の仲間との出会いに心から感謝しています。

最後になりましたが、2年3か月と短い期間でしたがメンバーとして皆様と活動ができ、卒業できた事を本当に感謝しています。宇治青年会議所に入会して本当によかったと思いますし、JC活動の中で関わらせて頂いた全ての皆様に心から感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。





## 左 聡一郎

2010年この宇治青年会議所に入会させていただいてから、あっという間に卒業を迎えることとなりました。私自身、入会してから最初の3年間は、精一杯JCを理解し、その活動に重きをおいて参りました。しかしながら、料理屋を営み、料理人として包丁を握る毎日との葛藤に挟まれ、現実、積極的に活動できないまま年月が過ぎ、今があります。

それでも、JCの魅力やメリットは重々に感じ取れたと思いますし、料理関係の団体とは違った雰囲気があり、他団体がお手本にするような秀でた部分も多々あったなと感じております。今思うと、仕事をしながらこのJCのために自分の時間を作ることが出来なかった自分を情けなく、そして勿体無く感じる次第です。

そんな私でも心に残る思い出は、たくさんあります。宇治JCから委員長を輩出し、出向させていただいた国際ミッション。宇治のメンバーがひとつになって取り組んだ「わくわくワーク祭り」。たくさんの子供たちの心にふれる事ができた「JCこども川柳」。

などなど、たくさんの記憶が甦ります。どれも温かいJCメンバーに囲まれて共に頑張ることの出来た良き思い出です。

何も達成できていない私が言うのもなんですが、現役の皆さんに伝えたいこと。

奉仕・修練・友情という言葉からも連想できるように、私たちは一人ではないのです。一人では何も成し遂げられないのです。「人」こそが全て。「人とのつながり」こそが全ての根源です。その人生で一番の宝でもある「人とのつながり」を最も育むことが出来たのがこの宇治青年会議所でした。それは、卒業してからも益々、貴重かつ大切なものになると考えています。

限りある時間を実り多きものにするには、この「人とのつながり」と「時間的価値観の共有」、そして、「宇治を愛する心」が必要不可欠だと思います。

卒業してからも、宇治のために、宇治青年会議所のために、出来る限りの努力は惜しまない所存でございます。本当に学び多き経験をさせていただきました。 感謝。

## 2018年度 新入会員挨拶



### 太田 愛二

2018年5月に入会いたしました太田愛二と申します。私は宇治市槇島町にて醤油の製造販売及び酒類の小売業を営んでおります。この度、御縁があり宇治青年会議所に入会させて頂きました。生まれ育った地であり、現在生活の場ともなっている宇治地域の活性化の為に少しでも力になれるよう尽力してまいります。皆様どうぞよろしくお願い申し上げます。



### 辻本 新

2018年1月に入会しました、辻本新と申します。  
私はソニー生命保険(株)で保険の営業をしております。  
私が入会したのは、生まれ育った宇治を盛り上げるために何かしたいと思ったからです。縁あって、JCに誘っていただき、参加するまではどんな団体なんだろう？と不安でいっぱいでしたが、参加してみると、同世代の若者がこんなに真剣に地域の為に考え活動しているのか！と驚きました。活動できる期間は2年と短いですが、積極的に動いていきます！これからも、よろしくお願い致します。



### 日戸 嵩之

2018年1月に入会しました日戸嵩之と申します。  
私は宇治で不動産業を営んでおります。仕事でも私生活でも宇治には深く関りがあり、宇治という場所がもっと活気づいて、盛り上がっていけば良いと考えていました。そんな折に宇治青年会議所という団体では様々な取り組みを行って地域の発展、社会貢献に寄与しているのだと知りました。私もそういった取り組みの一助となればと思い入会致しました。至らぬ点もあるかとは思いますが、皆様どうぞ宜しくお願い致します。



### 西尾 恵永

2018年1月に入会しました、西尾恵永と申します。  
私は、宇治市大久保で飲食店を営んでおります。  
日々たくさんの方々とお会いする中で、宇治の素晴らしい所などを発信していき、地域の発展や事業等に積極的に参加し、自分を成長させていこうと思っておりますので、皆様のご指導ご鞭撻宜しく御願い申し上げます。



### 山本 哲也

2018年3月に入会いたしました、山本哲也と申します。久御山町で生まれ育ち、大阪と東京での仕事を経て、久御山町に戻り農家を営んでおります。宇治青年会議所へは、農家の先輩に勧められ入会いたしました。  
宇治青年会議所を通じて、多種多様な職種の仲間と共に、一市二町の発展と活性化を目指し、先輩方が築いてこられた活動の歴史に少しでも貢献出来ればと考えております。  
2年間という短い期間ですが、後悔の無いように、しっかり取り組んでいきたいと思っております。どうぞ、よろしくお願いいたします。

## 2019年度 理事長所信



2019年度 一般社団法人 宇治青年会議所  
第50代 理事長 角田 盛樹

# 挑戦！限界のその先へ

物は試しの精神で、不変の想いを抱き己の殻を突き破ろう

はじめに

1969年、志を同じくする若き青年たちにより、全国で431番目の青年会議所として、宇治青年会議所が設立されました。私たちは、今一度この歴史の重みを感じ、敬意を払いながら宇治青年会議所として活動できることに感謝し、これからも地域に求められる青年会議所として、次代に繋げていくという使命感を胸に活動しなければなりません。

現在の日本は、少子高齢化が加速し、私たちの活動エリアにおいても人口転出などにより若年層が減少する中、地域に根差した活動をするために志を同じくするメンバーを増やすことが大きな課題の一つとなっています。また、情報化社会の進展により、手軽に多くの情報を入手できるようになりました。その一方で利便性の向上に伴って、あふれる情報を判断する能力が求められると同時に、能動的に情報を得る行動力が必要であると考えます。こういう時代だからこそ、私たちは地域を牽引するリーダーとして、利他の精神を養い、何事にも熱意をもって自ら率先して行動し続けることが、より一層の自己の成長となり、地域に根差した青年会議所運動を展開していく礎となるのではないのでしょうか。

創立50周年を迎えて

本年度、宇治青年会議所は創立50周年という節目の年を迎えます。設立当初から、現在に至るまで、先輩諸兄姉が「明るい豊かな社会」の実現に向けて、伝統ある事業や運動を展開されてきました。その連綿とした足跡から学びつつ、不変の想いを紡ぎ、私たちも変わりゆく時代の中でよりよい地域を目指し、時代に即した活動をしていかなければなりません。まずは、メンバー全員が丸となり感謝と敬意を持って、お力添えを頂きました行政・関係諸団体の方々に対してお礼の気持ちを表す50周年式典並びに懇親会を開催するとともに、次代に向けたビジョンを示し、5年後10年後の目指すべき未来へ挑戦の一年として突き進んでまいります。

会員拡大 人が集まれば、大きな風が吹く

1人の人間として出来ることは決して多くはないですが、10人になり、100人になると私たちの活動の可能性は無限に広がります。会員拡大は宇治青年会議所の大きな課題となっています。メンバー一人ひとりが魅力的な人財にならなければ、魅力ある組織とは言えません。青年会議所には様々な委員会活動や出向制度、また私たちは

姉妹JCとして香港ブヒニア青年商会をもち、国内外を問わず多くの方と交流する機会があります。様々な考えや価値観の方々と本気で向き合い目的意識をもち、お互い高めあいながら積極的に活動に取り組んでほしい。その挑戦する姿が青年会議所の魅力となり、地域の方々に積極的に発信することを通じて活動を共にできる同志が集まります。会員減少の危機感をメンバー全員が共有し、会員拡大を全力で取り組んでいきましょう。

#### まちづくり 地域の未来のために

まちが発展していくために大切なことは、自らが住むまちに一人ひとりが愛着を持ち、そこに住む人がこのまちに住み続けたい、まちのために何かをしたいという気持ちを持つこと、すなわち郷土愛を育むことだと考えます。そのためには、まず私たちが地域のことを見つめなおすことが必要ではないでしょうか。本年度、私たちは、長きにわたり行われてきた伝統ある行事や事業を振り返り、夢と感動を感じてもらふ事業を50周年記念事業として構築します。行政・関係諸団体の方々と積極的に連携を図り、巻き込んだ事業とすることで一体感が生まれ、継続していく事で地域に対して郷土愛を育み、それが地域の発展になると確信します。地域の発展と人の成長は切り離すことはできません。多くの障壁があったとしても一人ひとりが青年として柔軟な発想をもち、覚悟を決めて全力で挑戦してまいります。

#### ひとづくり 殻を破るのは自分自身

私自身、何かに取り組むとき、自らの限界点を決めてしまう。ここまでは、出来る、これ以上は出来ない。そこには自分への甘えでしかない。青年会議所には学びの場が無数にあり、それを掴むか逃がすかはその人次第です。たとえ険しい道だとしても自ら率先して目の前のチャンスに挑戦する気持ちをもって活動してほしい。熱き情熱をもって失敗を恐れず挑み続けることが地域を牽引するリーダーとなりうる第一歩になると考えます。自分の殻を破るにもまずは、自らを奮い立たせ、行動を起こすことが必要です。そのうえで、青年経済人として利他の精神を学び、他人のために積極的に行動する積み重ねが、新たな人財への成長となります。活動を通じて、メンバー一人ひとりが挑戦し続けることで、リーダーとしての資質が向上し、組織の強化にも繋げてまいります。

#### 組織基盤を考える 個性ある個と個の集合体が組織

入会年数が浅く、経験が少ないメンバーが多い中、地域のために力強い運動を展開するには、メンバー一人ひとりが自らの与えられた役割を全力で全うしなければなりません。

そのためには、まず青年会議所の本質を理解し受け身でなく能動的に活動できる組織を作る必要があります。運営に当たっては、メンバー自身の長所短所をお互いがしっかりと向き合うことで認め、補完しあうことで、揺るがない組織を構築していきます。メンバー同士が尊重しあえる関係を築き、自分の限界以上の力を発揮し運動を展開していけば、地域における青年会議所の存在価値も同時に高めていけると確信いたします。

#### 最後に

私たちは、50年にわたり活動してきたことに敬意を払い、誇りを胸に55年に向けて、慢心することなく、一人ひとりが自己のため、他人のため、地域のために全力で挑戦し続けることが必要です。メンバーの成長なくして青年会議所の未来はなし。たとえ迷い苦しんでも、優しく、時には厳しく必ず助けてくれる仲間がいる。乗り越えた先には、必ず成長した自分が待っている。40歳までという限られた時間の中、立ち止まることなく、熱い情熱をもって最高の仲間とともに全力で限界に挑戦し続けてまいりましょう。私自身、最終年度を迎えて理事長として、先頭に立って全力で限界に挑み続けてまいります。

物は試し、すべては自己の成長とまちの発展のために、

# 新入会員募集！！

## ＜宇治青年会議所へようこそ＞

宇治青年会議所は設立当時から、“明るい豊かな社会”の実現を目指して、様々な活動をしてきました。この価値ある活動を推進する会員は、自分自身が明るい豊かな社会を築く原動力であるという、高い意識を持ち、常に未来を見据えた行動を起こさなければならないと考えます。

宇治青年会議所では、会員全員がその共通認識のもと様々な活動に取り組んでいます。また、自らの修練と共に多くのメンバーとの「友情」をも育む事が出来る場でもあります。是非、私たちと共に活動しましょう！

- J Cの活動を通して地域に貢献出来た気がします。
- たくさんの人たちと出会い、信頼できるたくさんの仲間が出来ました。
- 色々な職業の人たちと知り合い、自分の仕事への良い刺激になりました。
- 事業を達成する事で、大きな充実感が得られました。

## ＜仕事が多忙なあなたこそ＞

忙しく、J Cに参加する時間が無いとお考えのあなたこそ、あえて入会をおすすめいたします。

多くの会員がハードスケジュールに追われている青年経済人である青年会議所では、より効率的な時間の管理方法を身につけ、実り多い時間を生み出す事を目指します。

## ＜揺るぎない信頼関係＞

様々な職種の20才から40才までの青年経済人で構成されている青年会議所では、共通の認識のもと、ひとつの目的に向かって団結して頑張ります。そのなかで育まれた友情、信頼は何年経っても変わらない絆になります。



**Junior Chamber International Uji**

**一般社団法人 宇治青年会議所**

---

事務局 〒611-0021 宇治市宇治琵琶45-13 宇治商工会議所内  
TEL.0774-23-3172 FAX.0774-23-7025  
URL <http://www.ujijc.jp> E-mail [info@ujijc.jp](mailto:info@ujijc.jp)